

競技注意事項

- 1 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
- 2 次の事項には特に注意を払う。
 - (1) 履物は運動靴, またはスパイクシューズ(スパイクのピンは全種目9mmを超えないもの)とする。
 - (2) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。また、スターティングブロックは使用しなくても構わないが、いずれもスタートの姿勢でしっかりとめることが必要。
なお、同じ競技者が2回不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 - (3) リレーにおける、テイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - (4) リレーオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに提出することとし、一度提出したらその後の変更は認められない(変更は大会本部が認めた場合に限り、走順の変更はできない)。
 - (5) 招集は第1ゲート(100mスタート付近)で行う。トラック競技は、競技開始時刻20分前、フィールド競技は、競技開始時刻の30分前に招集完了とする。招集所への監督・保護者の立ち入りはご遠慮ください。
 - (6) 走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地、背面跳びやベリーロールは無効試技とする。男子は110cm, 女子は105cmから競技を開始し、男女ともバーは120cmまで5cm, その後3cm刻みで上げる。
 - (7) 80mHは、高さ約70cm, ハードル数9台, ハードル間7m, スタートから第1ハードルまで13m, 最終ハードルからフィニッシュまで11mで行う。
- 3 トラック競技はタイムレースで予選を行い、上位8位までが決勝へ進出する。8位同タイムの場合は抽選とする。フィールド競技、走幅跳は3回の試技後、上位8人で決勝を行う。ジャベリックボール投は全員3回の試技のみで上位8位入賞者を決定する。助走は15m以内とし、羽だけを持って投げることを禁止する。
なお、フィールド各種目における1回の試技時間は30秒以内とする。
- 4 各種目の8位までを表彰する。入賞者は、決勝終了後ただちに表彰者席に集合すること。オープン種目となる4年80mは8位までを表彰するが、友好100mの表彰等はない。
- 5 各種目の1位(オープン種目を除く)は、全国大会に出場する権利を得たことになるので、表彰式終了後、大会本部で諸手続きをすること。無断で帰宅した場合、権利を失うことになるので注意すること。
- 6 男女リレー種目の上位18チームは、県選手権大会招待リレーへの出場資格を得たことになるので、出場を希望するチームは、受付時配布の「リレーチームへの連絡」に基づいて手続きすること。
また、男子リレー優勝チームは、「東日本都道府県小学生陸上競技交流大会・北海道函館大会」に招待される。
- 7 練習場として、開会前(9:00)までは本競技場を提供するが、競技準備等の妨害をしないように注意すること。競技開始後は、本競技場のバックストレートを提供するが、競技役員の指示に従って練習すること。
- 8 競技場内や練習場では、事故のないように十分注意すること。また、児童の体調管理は、保護者や引率者が行い、出場に際しては無理のないよう配慮すること。
- 9 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡する。
ただし、競技場での疾病・傷病等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- 10 リレーのエントリーから外れた選手による友好レース(100m)の出場希望届出は、「申込書様式2・個人申込票」で、大会当日の受付時に行う。